

製品・サービス動向-国内

■ビズリーチ：動画面接機能を「スタンバイ」
でリリース、仕事探しを応募から面接まで
スマートフォンひとつで完結

(11月16日)

株式会社ビズリーチ (<http://www.bizreach.co.jp/>) (東京都渋谷区) は、地図で仕事を探せる「スタンバイ」のiOS、Androidアプリに対応した「チャット動画面接」機能をリリースする。会社によると日本初という。



スタンバイのチャット動画面接イメージ (ビズリーチ)

ビズリーチは、人事・人材領域を中心にインターネットサービスを運営。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」のほか、若手社員のためのレコメンド型転職サイト「キャリアトレック」、戦略人事クラウド「HRMOS (ハーモス)」などを展開。

スタンバイは、スマートフォンなどのGPS機能を活用した「地図」で仕事を探せるサービス。国内の全業種・全職種・全雇用形態を対象に求人検索から面接ま

で出来る、日本で初めてのアプリ。キーワード検索により検索可能件数は400万件を超え、いつでもどこでも自分にあった求人を効率的に検索することが可能。

これまでも求職者はスタンバイアプリで求人情報の検索・応募・チャットによる面接日時調整・合否連絡の受け取りを行うことができたが、チャット動画面接機能が加わり、面接は自宅など好きな場所でいつでも受けることが可能になり、仕事を決定するまでの全ステップをスマートフォンひとつで完結できるようになっている。

一方、企業・店舗側は誰でもかんたんに無料で求人掲載ができる採用管理ツール「スタンバイ・カンパニー」を利用することで、チャット動画面接機能の使用が可能になる。

会社によると、「アルバイト・パートの売り手市場、時給1,000円の時代」が到来しているという。そういった中、企業側は人材獲得に力を入れている。しかし、会社が調査したところ、アルバイトの面接について、5割以上が「面接会場に行くことを面倒・負担と思う」と回答している。一方企業側においても、求職者は同時に複数企業へ応募することが多いことから、「競合と迷う時間を与えない」「ドタキャン防止に期待」などの声があるという。

今回の機能追加によりスタンバイは、「仕事を探す人と、人を探す企業がリアルタイムにマッチングでき、すぐに働き始めることができる」世界を目指しているとしている。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブとレノボ・ジャパンが協業し、ワークスタイル変革分野での共同ソリューション開発・販売で協業

(記者会見：11月16日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) とレノボ・ジャパン株式会社 (<http://www.lenovo.com/jp/ja/>) (東京都千代田区) は、ワークスタイル変革分野での共同ソリューション販売に関して協業を発表した。



レノボ・ジャパン 代表取締役社長 留目真伸氏 (左) とブイキューブ 代表取締役社長兼 CEO 間下直晃氏 (右)

本協業により、ブイキューブは同社のテレビ会議システム「V-CUBE Box」の筐体に、レノボの省スペースコンパクト PC である「ThinkCentre M700 Tiny」を採用し、2017年1月より国内法人向けに販売を開始する。

レノボは、社内外においてワークスタイル変革を支援する、コネクテッドデバイスとクラウドを組み合わせた多彩なコンピューティング環境を提供している。ブイキューブは中期経営計画において、ビジュアルコミュニケーションサービスを活用したワークスタイル変革の推進を掲げ、ユーザのニーズに合わせたサービ

スを提供している。

この度、ハードウェアのレノボそしてソフトウェアのブイキューブが、両社の製品・サービスを組み合わせることで、場所にとらわれることなく働きやすい環境を常時サポート可能とし、コストや運用負担を軽減できるソリューションを共同で販売していく。

V-CUBE Box は、従来のテレビ会議専用端末との互換性もサポートされ、誰でも使いやすく、2ステップで会議が始められる、低コストで拡張性の高いテレビ会議システム。2015年10月発売。大手新聞社や医薬品販売を始めとした多くの企業で採用が進んでいる。



「ThinkCentre M700 Tiny」を採用した テレビ会議システム V-CUBE Box(ブイキューブ)

そもそもブイキューブがテレビ会議システム (ハードウェア端末) に1年前に参入したのは、テレビ会議市場の潜在成長力に着目したからだ。年間 34,000 台から 38,000 台の販売数を達成している日本市場ではあるが、単価がまだまだ高いというイメージがあるという。

「単価がさがれば小規模拠点では V-CUBE Box を導入してもらいやすいので、市場は今よりもそれなりの規模感にもっていけるのではないかと期待している。」 (ブイキューブ) そこに V-CUBE Box の狙いがある。

その上、ソフトウェアとハードウェアを組み合わせることでのメリットもあるという。「ソフトウェアは目に見えないがハードウェアがあったほうが理解してもらいやすい企業もある。」 (ブイキューブ)

これまで提供してきた V-CUBE Box 製品は、複数メーカーの汎用製品を使用していたが、ハードウェアのモ

デルが変わるたびに機材検証と流通の確保にコストと手間がかかるといった課題があった。今回の提携により、ブイキューブとしてはハードウェアの安定供給を確保することで V-CUBE Box のさらなる販売拡大とサポートの充実につなげたい考えだ。



テレビ会議システム V-CUBE Box(ブイキューブ)

また、ThinkCentre M700 Tiny を採用したのは、米軍規格をクリアする信頼性とビジネス PC としての実績があるといった点のほか、V-CUBE Box が求める、狭い会議室で利用したい、持ち運びができるようにしたいといった省スペース性を満たしているところ、さらには、汎用製品採用によるリーズナブルな価格提供が可能といったところがあげられる。

「これまでと変わらない価格帯でカメラ・マイク・本体などセットで30万円ぐらいから提供したい。」(ブイキューブ)

一方、レノボとしては、IoT 推進・ワークスタイル変革・地域創生を注力領域として、コンピューティングデバイスに強みを持つ同社とパートナー企業との「共創」により、オープンイノベーションを実現できる「未来型企業」を支援していくといったビジョンを持つ。

今回の提携により第一弾としては、レノボがブイキューブの V-CUBE Box の販売を開始することになるが、今後の展開としては、レノボのハードウェアを活用したワークスタイル変革分野のソリューション開発

や、研修や教育などのコミュニケーション分野でのソリューション開発を両社で取り組んでいくとしている。



簡単に小規模テレビ会議環境を構築できるソリューション (ブイキューブ)

たとえば、V-CUBE Box を「ThinkCentre Tiny All-in-One」の背面に差し込むだけで、簡単に小規模テレビ会議環境を構築できるソリューションのほか、レノボのモバイルプロジェクターやワイヤレススピーカーとの組み合わせたソリューションなども検討しているという。

なお、レノボ・ジャパンは、「xSync Office」を提供するパイオニア VC とはすでに国内販売で提携しているが、ブイキューブとは今回が初めての提携となる。

■Yorktel 社：アジア太平洋地域事業拡大の一環として東京オフィスを開設

(11月16日)

Yorktel 社 (<http://www.yorktel.com/>) (米国・ニュージャージー州) は、アジア太平洋地域事業拡大の一環として、東京オフィスを開設したと発表。

Yorktel 社は、大企業や連邦政府向けの UC&C、クラウド、ビデオマネージドサービスを提供しているグローバルプロバイダー。1985 年設立。本社はニュージャージー州に、拠点は米国、イギリス、フランスにある。

東京オフィスのトップには、Aron Wentzel 氏がアジア太平洋ビジネス開発担当 VP として就任。Yorktel 社

のユニファイド・コミュニケーション、コラボレーション（UC&C）、ビデオマネージドサービスなどの日本での展開を行っていく。

前職では、音響システム・UC&C 向けのシステム設計やプロフェッショナルマネージドサービスを提供している Media Access Group でエグゼクティブ・オフィサーや、その前は、Bloomberg Television 社などで18年のAV、放送、マネージドサービス、UC&C 関連の実績がある。

導入利用動向-国内

■ビーマップ：千代田区観光協会が通訳サービス「J-TALK Business」を採用、外国人観光客へのおもてなしをサポート

(11月18日)

一般社団法人千代田区観光協会 (<http://www.kanko-chiyoda.jp/>) (東京都千代田区) は、株式会社ビーマップ (<https://www.bemap.co.jp/>) (東京都千代田区) が提供する法人向け通訳サービス「J-TALK Business」を外国人観光客へのおもてなしをサポートする通訳ツールとして採用した。

千代田区観光協会は、千代田区およびその周辺地域の自然、景観、文化・歴史、産業・技術などの資源を活用し、観光事業の振興を図ることにより、千代田区の魅力を高め国内外の人々との交流を促進し、地域文化の維持発展および地域経済の活性化に寄与することを目的として活動している。ホームページの運営や観光マップ、地域情報の編集・発信のほか、千代田のさくらまつり（3月下旬）や江戸城ウォークなどのイベントも運営している。

この J-TALK Business は、同協会の受付に設置され外国人観光客への円滑な案内をサポートする。J-TALK は顔を見ながら通訳対応するほか、ホワイトボード機能、地図機能などサービス利用者への案内をサポートする

機能を充実させている。英語・中国語・韓国語・タイ語に対応している。

ビーマップは、モバイル端末へのコンテンツサプライを可能にするソフトとサービスの提供を事業ドメインとしている。

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証・取材レポート

■ビークューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ビークューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ビークューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：11月・12月

会場：東京都・大阪府・愛知県・三重県・静岡県

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

※その他セミナー情報：<https://jp.vcube.com/event/seminar/>

■ポリコム オンデマンド Webinar ポリコムのマイクロソフト連携紹介

第一回 Webinar(所要時間：31分)

「これまで以上のビジネスをポリコムでシンプルに実現」

第二回 Webinar(所要時間：41分)

「ポリコムとマイクロソフト SfB ソリューションのネイティブ連携 - 利点と実現方法」

第三回 Webinar(所要時間：34分)

「Office 365 環境におけるポリコムとマイクロソフト SfB ソリューションのネイティブ連携」

会場：オンラインで視聴

詳細・申込：

<http://www.polycom.co.jp/forms/microsoft/skype-for-business-webinar.html>

■Are you ready for Skype for Business? Skype for Business、Office 365 環境におけるポリコムとマイクロソフト ソリューション

日時：12月6日(火) 10:00～(所要時間：50分を予定)

会場：オンライン

主催：ポリコムジャパン株式会社

内容・詳細：

<http://response.polycom.com/01-JP-E-PS-2016-Q4-PolycomWebinarMSSolution.JP-LP>

■【WEB セミナー】「Adobe Connect で実現するオンラインウェブセミナー」の御案内

日時：12月16日(金) 1回開催(30分) 18:00～18:30

会場：自席のパソコン (ブラウザ)

主催：株式会社サムライズ

詳細・申込：http://www.samuraiz.co.jp/event/05_161216.html

■ユーザの悩みをこれで解決！テレビ会議・Web 会議事例紹介セミナーのご案内

日時：2017年1月11日(水)、12日(木)、13日(金)

会場：VTV ジャパン 東京本社・大阪オフィス

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1701vtv/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年11月30日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp